

ハローワーク名古屋南 就職支援業務報告（令和2年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

① 各指標に対する取組

新型コロナウイルス感染症の拡大下において、「企業の雇用維持支援」と「コロナ離職者及び就職氷河期世代の就職支援」を軸として取り組んで参りました。

「企業の雇用維持支援」については、雇用調整助成金の迅速支給をめざし、所長以下関係職員が一丸となって支給審査業務に取り組みました。また、コロナ禍においても人材確保を求める企業を支援するため、求人充足会議を毎週開催して個別支援求職者との能動的なマッチングや未充足求人のフォローアップを図ったほか、ミニ面接会やオンラインによる企業説明会の実施にも取り組みました。

「コロナ離職者及び就職氷河期世代の就職支援」についても、『就職氷河期世代を対象とするセミナー』及び『就職氷河期世代及び新型コロナウイルス感染症の影響により離職を余儀なくされた方を対象とした就職面接会』を7月28日に単独開催し、就職意欲の喚起と就職支援を行いました。

これらの取組みにより、就職氷河期世代の正社員就職に結びついた件数は、目標達成率223%と大幅に上回ることはできましたが、求人充足件数については、目標達成率80%にとどまり目標値を達成することができませんでした。このため充足会議の在り方について検討を行い、対象求人の選定方法の見直しや双方向の求職者担当制の強化の取り組みを開始しております。

特に支援を必要とされる生活保護受給者等及び障害者の支援については、コロナ禍の影響を大きく受けました。

生活保護受給者等は、庁舎内のほか名古屋市内各区役所内に相談窓口を設置しておりますが、区役所内相談窓口の一定期間の閉鎖により就労支援に制限がかかり、目標達成率98%とあと一息の結果となりました。生活保護受給者等には児童扶養手当受給のひとり親家庭が含まれていますが、子どもを抱えての就職活動が鈍化した面もうかがえました。

障害者についても、コロナ禍のためチーム支援の相談を手控える傾向がみられ、就職件数に結び付きませんでした。企業・当事者双方の新型コロナウイルス感染の不安から実習の受け入れが進まなかったことも要因のひとつとして考えられます。

② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

ハローワークシステムの刷新や働き方改革関連法の施行など、業務遂行に関する知識を付与するため『Zoomを使用したオンライン相談研修』（1回）、及び『基準行政研修』（2回）を開催し、それぞれ関係機関より講師を招聘してオンライン相談の留意事項や労働基準法の講義を職員・非常勤職員全員に実施いたしました。

また、PDCAサイクルの効果的な運営やハローワークマッチング総合評価への取り組み方法については、随時所長による解説と助言を行って参りました。

(2) サービス改善・業務改善を図った事項

(サービス改善)

コロナ禍の中において、利用者が安心して当所を利用していただけるよう、外部施設も含めた全ての窓口に飛沫飛散防止フィルムの設置、庁舎内に検温器、消毒液、加湿器、空気清浄機を配置いたしました。また定期的な館内放送により、マスク着用や換気の呼びかけを行いました。

(業務改善)

コロナ感染不安がある利用者のために、来所を必要としないとする相談の在り方を検討いたしました。通信紹介要領を策定し、電話相談、オンライン相談・紹介、ZOOMを活用したオンライン企業説明会の開催に積極的に取り組みました。

オンライン企業説明会は企業の動画も提供しており、求職者の業界に対するイメージの齟齬の解消につながっております。

また、ホームページはスマートフォン対応にリニューアルし、手軽にホームページにアクセスできるよう二次元コードを提供することで、利用者が自宅でも十分な情報を収集できる環境を整備しました。

(3) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

コロナ禍の影響により、求職者の就職活動の鈍化・変化がみられました。感染の不安から来所をためらう場合や、リモート面接など新しい面接スタイルに戸惑うケースもありました。窓口では紹介率アップに取り組み、紹介件数は前年度数を上回ったものの紹介成功率が振るわず、就職件数の目標達成率は84%と達成に至りませんでした。今後は、オンラインにて職業相談のみならず、応募書類の添削やリモート面接のトレーニングなど、企業・求職者それぞれのニーズに対応した個別支援を行ってまいります。

(4) その他業務運営についての分析等

今年度は管内主要産業のひとつである航空機製造関連産業がコロナ禍の影響により採用活動を停止していましたが、今後、新型コロナウイルス感染症が落ち着くと再開が見込まれるため、その折は迅速な充足支援に取り組むこととしております。

また今後、生産年齢人口減少、高年齢者雇用安定法の改正により外国人、65歳以上の方の就職支援も増加するものと思われまます。これらの層の方々の応募が可能な求人は不足しているため、求人開拓の必要もあると考えております。

2 総合評価 (※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 特記事項

今年度、コロナ禍においても就職面接会等マッチングの機会を模索し実行してまいりましたが、目標を達成できない項目もありました。令和2年度の評価結果については、新型コロナウイルス感染症の影響下での結果であることに留意が必要であると思われまます。

4 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受 給者早期再 就職件数	紹介率	ハローワー クの職業紹 介により、正 社員に結び ついた就職 氷河期世代 の不安定就 労者・無業 者の件数	正社員 求人件数	正社員 就職件数	生活保護 受給者等の 就職件数	障害者の 就職件数	公的職業訓 練修了3か 月後の就職 件数	生涯現役支 援窓口での 65歳以上 の就職件数
実績	4,210	3,979	2,360	98.1%	778	22,886	1,945	715	464	383	220
目標	4,979	4,918	2,222	105.1%	348	26,365	2,023	723	557	324	212
目標達成率	84%	80%	106%	93%	223%	86%	96%	98%	83%	118%	103%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率